

くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい
国立市地域福祉計画策定委員会

だい かい へいせい ねん がつ にち
(第2回 平成29年3月27日)

かい ぎ ろく
会 議 録

かい ぎ めい 会 議 名	だい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいいんかい 第2回国立市地域福祉計画策定委員会
にち じ 日 時	へいせい ねん がつ にち げつ ここ じ ふん じ ふん 平成29年3月27日(月) 午後7時00分～9時00分
ば しょ 場 所	くにたちしやくしょ かい だい かいぎしつ 国立市役所 3階 第1・2会議室
しゅ せい 出席者	うえまつつよし やまぐちち え こ はやしひろき まるやまあきら きどうひろゆき はやしみすちか 上松剛・山口千恵子・林大樹・丸山晃・木藤博之・林瑞哉・ ほんだきみえ たむらふみえ いのうえはるな まつうらたかあき 本多公恵・田村文榮・井上晴菜・松浦高明
せつめいしゃ 説明者	ふくしそつむかちやう ちいきふくしすいしんかかりちやう ふくしそつごうそつだんかかりちやう 福祉総務課長・地域福祉推進係長・福祉総合相談係長
けっせきいん 欠席委員	なし
ぎ だい 議 題	1. だい1 かいちいきふくしけいかくさくていいいんかい ぎじろく かくにん 第1回地域福祉計画策定委員会の議事録の確認 2. だい1 じくにたちしちいきふくしけいかく かんするひやうか 第1次国立市地域福祉計画に関する評価について (くにたちしちいきほけんふくしせきすいしんきやうぎかいとうしん 国立市地域保健福祉施策推進協議会答申) 3. げんじやうぶんせき かだい せいり くにたちし ちいきふくし げんじやう 現状分析と課題の整理(国立市における地域福祉の現状) 4. そのた その他
こうかい ひこうかい べつ 公開・非公開の別	こう かい 公 開
ひこうかい りゆう 非公開の理由	
ぼうちやうにん ぬま 傍聴人の数	9名
はいふしりやう 配付資料	しりやう くにたちしちいきほけんふくしせきすいしんきやうぎかいとうしん 資料① 国立市地域保健福祉施策推進協議会答申 しりやう くにたちし ちいきふくし げんじやう 資料② 国立市における地域福祉の現状

へいせい ねんど だい かい くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい
平成28年度 第2回 国立市地域福祉計画策定委員会

うえまついいんちょう ていこく へいせい ねんどだい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい
【上松委員長】 それでは定刻となりましたので、平成28年度第2回国立市地域福祉計画策定委員会

かいさい
を開催いたします。

はじめに、しだい ぎじろく かくにん じむきょく せつめい ねが
まず初めに、次第の1、議事録の確認になります。事務局から説明をお願いします。

じむきょく ねが
【事務局】 よろしく願いいたします。

はじめに、じぜん いいん みなさま そうふ だい かいちいきふくしけいかくさくていいんかい
まず初めに、事前に委員の皆様へ送付させていただきました第1回地域福祉計画策定委員会の

ぎじろく かくにん おち いいん みなさま かひつ しゅうせい
議事録につきまして確認をさせていただきたいと思っております。委員の皆様におかれまして、加筆、修正

ひつよう かしょ
が必要な箇所などございましたでしょうか。

いのうえいいん いのうえはるな まちが ぎょうめ
【井上委員】 井上晴菜です。間違いが3つあります。1つに、11行目、「また、いろいろなところ

で べんきょう わたし くにたちし けいかく けいかくばん
に出かけて勉強しています。私は、国立市しょうがいしゃ計画のわかりやすい計画版を」の「わか

りやすい計画版」が違います。「わかりやすい版」です。

じむきょく けいかく けいかくばん ばん
【事務局】 しょうがいしゃ計画の「わかりやすい計画版」ではなくて「わかりやすい版」ですね。

いのうえいいん ばん
【井上委員】 「わかりやすい版」です。

じむきょく かたち しゅうせい
【事務局】 わかりました。その形で修正します。

いのうえいいん かいいいん ちが かい かいいいん
【井上委員】 2つ、「わかりやすい会員」が違います。「わかりやすい会」です。「会員」じゃないで

す。

じむきょく かいいいん かい
【事務局】 「わかりやすい会員」ではなくて「わかりやすい会」。

いのうえいじん め ぎょうめ じしゅぼうさい ちが に ちゅうぼうさいいじん
【井上委員】 3つ目です。15行目、「自主防災」が違います。「二中防災委員」です。

じむきょく じしゅぼうさい にちゅう ぼうさいいじん
【事務局】 「自主防災」ではなくて「二中の防災委員」でよろしいですか。

いのうえいじん に ちゅうぼうさいいじん
【井上委員】 「二中防災委員」です。

3つありました。直してください。

じむきょく りょうかい しつれい
【事務局】 了解いたしました。失礼いたしました。

いのうえいじん りょうかい いじょう
【井上委員】 了解です。以上です。

じむきょく てん じむきょく しゅうせい おち
【事務局】 その点につきまして、事務局で修正させていただければと思います。

いいん みなさま
ほかの委員の皆様はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

いいん みなさま ごかくにん きじろく ごじつ
それでは、委員の皆様のご確認をいただきましたので、議事録につきましては後日ホームページに

けいさい おち ねが
掲載させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

いいん みなさま きじろく さくせい あ しんぎ なか ごはつげん さい
また、委員の皆様におかれましては、議事録の作成に当たりまして、審議の中で御発言いただく際に

かなら きょしゅ いいんちょう しめい のち なまえ
は必ず挙手をしていただきまして、委員長が指名した後に、お名前をおっしゃっていただいてから

ごはつげん おち ねが
御発言いただければと思います。よろしく願いいたします。

せつめい いじょう
説明は以上になります。

うえまついいんちょう つづ しだい だい じくにたちしちいきふくしけいかく かん ひょうか
【上松委員長】 それでは続きまして、次第の2、第1次国立市地域福祉計画に関する評価について

じむきょく せつめい ねが
になります。事務局から説明をお願いいたします。

じむきょく はじ てもと ほんじつはいふ しりょう かくにん
【事務局】 まず初めに、お手元に本日配付させていただいております資料の確認をさせていただきます

おち
たいと思っております。

てん ほんじつ だい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい しだい てん じかいいこう
1点が、本日の第2回国立市地域福祉計画策定委員会の次第になります。あともう1点、次回以降の

ちいきふくしけいかくさくていいんかい にってい まい ほんじつぎじょう はいふ
地域福祉計画策定委員会の日程についてといったものです。この2枚を本日議場に配付させていただ
いております。

じぜん いいん みなさま しりょう そうふ てん ちいきふくしけいかく ひょうか
また、事前に委員の皆様へ資料として送付させていただいております。1点が、地域福祉計画の評価、

てんけん おこな すいしんきょうぎかい しもん なかみ ちいきふくしけいかくさくていいんかい しりょう
点検を行っております推進協議会の諮問の中身のものになります。地域福祉計画策定委員会の資料

の①になります。えー ふ ぶ ちいきふくしけいかくさくていいんかいしりょう
の①になります。A3のものが1部になります。あともう1部です。地域福祉計画策定委員会資料の

くにたちし ちいきふくし げんじょう えー しりょう
②、国立市における地域福祉の現状といったホッチキスどめのA4の資料になります。

いじょう しりょう ふそく
以上になりますが、資料に不足などはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

しりょう せつめい おも てもと くにたちしちいきふくしけいかくさくてい
そうしましたら、資料の説明をさせていただければと思います。お手元に国立市地域福祉計画策定

いいんかい だい かい しりょう えー くにたちしちいきほけんふくししきくすいしんきょうぎかいとうしん ごようい おも
委員会（第2回）資料①、A3の国立市地域保健福祉施策推進協議会答申を御用意いただければと思

います。

くにたちしちいきほけんふくししきくすいしんきょうぎかい くにたちしちいきふくしけいかく すいしん げんこう ちいきふくし
国立市地域保健福祉施策推進協議会とは、国立市地域福祉計画を推進するために、現行の地域福祉

けいかく けいかく こうれいしゃほけんふくしけいかく けいかく けいかく しんちやくじょうきょう はあく
計画、しょうがいしゃ計画、高齢者保健福祉計画の3つの計画につきまして、計画の進捗状況を把握

てんけん ひょうか おこな きょうぎかい こんかい みなさま はいふ
し、点検、評価を行う協議会となっております。今回、皆様へ配付させていただいておりますのは、

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ けい かい だい じちいきふくしけいかく てんけんおよ
平成27年12月から平成28年3月まで、計4回にわたりまして第1次地域福祉計画について点検及

ひょうか おこな へいせい ねん がつ か とうしん しちょう ていしゆつ
び評価を行っていただいたものを、平成29年12月14日に答申といたしまして市長に提出されたも

のになります。

ないよう かんたん せつめい おも
それでは内容について、簡単ではございますが、説明させていただければと思います。

資料の1ページ目をごらんいただければと思います。内容といたしましては、左から、施策の方向、

事業名、事業内容、期間、担当課、取組名です。23年度から26年度までの事業実績、実施回数です

とか参加人数、また、その次に課題・方針といったものを記載しております。そして、一番右の中間

評価につきましては、推進協議会で御議論いただいた各事業に関する評価になっております。A評価

については、より事業について充実させる。Bについては、事業を継続させる。Cについては、事業

見直しを検討するといった中身になっております。

具体的な中身につきましては、1つ目、事業名としまして、福祉サービス等の内容の見直しと民間事

業者への委託になっております。担当課は、まず福祉総務課については該当なし、しょうがいしゃ

支援課につきましては新体系移行といったものになります。課題・方針といたしまして、しょうがい

福祉サービスが利用者と事業所の契約によって提供される仕組みについては、一定の安定を見た。

課題は達成しており、この項目の必要性について見直しが必要といったことで、評価はCとなっております。

ります。

先ほど、福祉総務課は該当なしとしましたが、該当がない場合は全てC評価ということで統一させ

ていただいております。

また、高齢者支援課では、「高齢者食事サービス」の事業内容の見直しとなっております。課題・方針

といたしましては、朝食の食事サービスを行う事業者については、平成27年12月現在2カ所だけ

なので、今後、朝食サービスの実施について事業者に依頼していく。評価としてはBとなっております。

ます。

かだん うつ えぬびーおーとう だんたいとう ふくし じぎょう いたく ふくし
下段に移りまして、NPO等の団体等への福祉サービス事業の委託となっております。まず、福祉

そうむか がいとう しーひょうか つづ しえんか
総務課は該当なしということでC評価となっております。続きまして、しょうがいしゃ支援課になり

こうじのうきのう しえんじぎょう しゅうろうしえんじぎょう せいじんき はったつ
ます。高次脳機能しょうがいしゃ支援事業、しょうがいしゃ就労支援事業、成人期の発達しょうがい

しえんじぎょう かだい ほうしん こうじのうきのう
しゃ支援事業といったものとなっております。こちらの課題・方針といたしましては、高次脳機能し

しえんじぎょう しゅうろうしえんじぎょう こんご ちやくえい いたくじぎょう じっし
ょうがいしゃ支援事業、しょうがいしゃ就労支援事業については今後も直営、ただ、委託事業で実施

いたく すず じぎょう けいぞく びーひょうか
できるものについては委託を進めていくということで、事業を継続していくB評価となっております。

まい いま おな じぎょうめい なかみ こうれいしゃ
1枚おめくりいただきまして、2ページになります。今と同じ事業名の中身になりますが、高齢者

しえんか こうれいしゃがいしゅつしえん でんしゃ とう りょう こんなん こうれいしゃ たい
支援課になります。「高齢者外出支援サービス」は、電車、バス等の利用が困難な高齢者に対して、

くにたちし ふくし けいやく と か じぎょうしゃ りょう ていきょう
国立市と福祉タクシーの契約を取り交わした事業者のタクシー利用サービスを提供することにより

こうれいしゃ がいしゅつしえん おこな びーひょうか
まして高齢者の外出支援を行うものとなっております。こちらについてはB評価となっております。

こそだ しえんか じぎょうしよれんらくかい じっし
また、子育て支援課につきましては、ヘルパー事業所連絡会の実施ということとなっております。

かだい こんご ねん かい じぎょうしよ れんらくかい じっし たいおう いけん
課題といたしまして、今後も1年に1回は事業所との連絡会を実施する、そして、対応ケースの意見

こうかん じょうほうこうかん じっし びーひょうか
交換、情報交換を実施していくということで、B評価となっております。

かだん うつ ふくし ていきょう えぬびーおーとう だんたい しえん ふくし そうむか
下段に移りまして、福祉サービスを提供するNPO等の団体への支援、福祉総務課につきましては、

ふくし ゆうしやうらん そうじぎょう ぼじょきん ししゅつ えぬびーおーだんたい おこな いどう こんなんしゃ がいしゅつ
福祉有償運送事業補助金の支出がございました。こちらは、NPO団体が行う移動困難者への外出

しえんじぎょう かん ぼじょきん ししゅつ えーひょうか
支援事業になりますが、そちらに関して補助金を支出するものとなっております。こちらはA評価と

させていただきます。

つづ しえんか ちいきせいかつしえんじぎょう ぼじょきん とうきやうとしょうがいしゃしきくすいしんぶほうかつぼじょ
続きまして、しょうがいしゃ支援課、地域生活支援事業補助金、東京都障害者施策推進部包括補助

じぎょうた かだい じぎょうしょ かつどうないよう おう ほじょ けいぞく
事業他となっております。課題としましては、事業所の活動内容に応じて補助を継続し、しょうがい

ちいきせいかつ しえん きよ びーひょうか
しゃの地域生活の支援に寄与していくといったことで、B評価となっております。

こうれいしゃしえんか がいとう しーひょうか
高齢者支援課につきましては、該当なしということでC評価となっております。

まい め ふくし とう さくせい
1枚おめくりいただきまして、3ページ目になります。こちらは、福祉マップ等の作成といった

じぎょうめい
事業名となっております。

こうれいしゃしえんか ちいき ちいきじゅうみん しゅたい こうれいしゃ
高齢者支援課では、ためになる地域マップづくりということで、地域住民が主体となった高齢者

ちいき みまも かつどう いっかん こうれいしゃ やくだ じょうほう けいさい ちいき さくせい
地域の見守り活動の一貫として、高齢者に役立つ情報を掲載した地域マップを作成しております。こ

かだい ほうしん ちいき かつどう だんたい そしきとう しゃかいしげん はあく
ちらの課題・方針につきましては、地域でさまざまな活動をしている団体や組織等の社会資源を把握

こうれいしゃ きがる あつ ば ゆうよう じょうほうていきょう しゅだん ほうほう けんとう
し、高齢者が気軽に集まることのできる場の有用な情報提供ができる手段や方法を検討するといっ

じぎょう じゅうじつ えーひょうか
たことで、より事業を充実させるA評価となっております。

かだん うつ ふくし かんけいしりょう かいぜん しちょうしつ しほう
下段に移りまして、福祉サービス関係資料の改善になります。こちらにつきましては、市長室、市報

か こうほうし つと かだい ほうしん
のフルカラー化になります。よりわかりやすい広報誌づくりに努めていくという課題・方針でござい

びーひょうか
まして、B評価となっております。

おな しちょうしつ しほうおんやくばん しこうしき けいさい ひ つづ
同じく市長室になります。市報音訳版を市公式ホームページに掲載。こちらにつきましては、引き続

はいりょ ところ びーひょうか
きアクセシビリティに配慮したホームページを心がけていくということで、B評価となっております。

す。

つづ じょうほうか んりか しこうしき じゅうじつ
続きまして、情報管理課になります。市公式ホームページの充実となっております。こちらにつ

おな ひ つづ はいりょ ところ
きましては同じ、引き続きアクセシビリティに配慮したホームページを心がけていくということ

で、Bとさせていただきます。

続きまして、子育て支援課になります。子育て関連事業等の情報提供ということになっておりま

す。課題・方針といたしまして、産前の母子手帳交付時に配付するという考え方もございますが、既

に現状でも配付物が多い中で、市民が情報を整理、把握するのが大変な面があるといったことで、

より事業を充実させていく中で、そういった課題の解決を図っていくということになっております。

下段に移りまして、社会福祉協議会との連携の強化になります。福祉総務課につきましては、くに

たち福祉会館指定管理事業となります。課題・方針といたしまして、利用者などから社会福祉協議会が

運営していることに対して高い評価を得ている。また、平成27年12月市議会で、くにたち福祉会館

の指定管理業務について、国立市社会福祉協議会が受託し、引き続き5年間実施することが可決され

ているといったことを受けまして、事業として継続となっております。

1枚おめくりいただきまして、4ページになります。同じ社会福祉協議会の事業になりますが、し

ょうがいしゃ支援課になります。障害者センター指定管理事業、「あすなろ」指定管理事業になって

おります。こちらにつきましては、利用者及び保護者、市民などから、社会福祉協議会が運営してい

ることに同じく高い評価を得ている。また、平成27年12月市議会で、障害者センター及び「あ

すなろ」指定管理業務について国立市社会福祉協議会が受託し、引き続き5年間実施することが可決さ

れたということを受けまして、事業の継続のB評価となっております。

続きまして、職員課になります。こちらは人事交流になります。市と社会福祉協議会の人事交流を

行っています。引き続き必要に応じて検討していくということで、B評価となっております。

かだん うつ ふくしかんけいきかん じぎょうしょかん れんけい じぎょうめい
下段に移りまして、福祉関係機関・事業所間の連携といった事業名になります。

ふくしそむか ちょうないしょくいん がいぶきかんとく ふくしそごうそだんがかり しゅうち ちょうないきそん
福祉総務課につきましては、庁内職員、外部機関等への福祉総合相談係の周知、庁内既存のネ

ットワークとなっております。へいせい ねんど ふくしそむか なか ふくしそごうそだんがかり つうしょう
平成26年度より、福祉総務課の中に福祉総合相談係、通称ふくふく

まどぐち もう しみん かた そだん ひろ う まどぐち せっち てん かだい ほうしん
窓口と申しますが、市民の方の相談を広く受ける窓口を設置したといった点になります。課題・方針と

いたしまして、ちいき う ふくし せいかつ かん こま かた はっけん
地域に埋もれている福祉や生活に関して困っている方を発見していくために、さらな

かんけいきかん れんけい ひつよう じぎょう じゅうじつ えーひょうか
る関係機関との連携が必要といったことで、事業の充実のA評価とさせていただきます。

つづ しえんか じりつしえんきょうぎかい
続きまして、しょうがいしゃ支援課になります。自立支援協議会になります。こちらにつきまして

じりつしえんきょうぎかい はっしん じゅうじつ どうじしゃ さんか かくだい かだい ひー
は、自立支援協議会からの発信の充実、しょうがい当事者の参加の拡大が課題だといったことで、B

ひょうか
評価とさせていただきます。

つづ こうれいしゃしえんか みまも かん かんけいきかん みまも かいぎ かいぎ
続きまして、高齢者支援課になります。見守りに関する関係機関との(見守りネットワーク会議)会議

かいさい ひ つづ ていきてき かいぎ じっし ひー
の開催となっております。こちらにつきましては、引き続き定期的な会議を実施するという点で、B

ひょうか
評価とさせていただきます。

こそだ しえんか ちょうない けんしゅう かがっこう ほいくえん れんらくかい かだい
子育て支援課になります。庁内ネットワーク研修、各学校・保育園との連絡会といったことで、課題

たいしょうぶしよいがい ぶしよ さんか しえん ひつよう こ かていとう
といたしまして、対象部署以外の部署からの参加もふえている。支援が必要な子どもや家庭等への

りかい かくぶしよ ぶんか ひつよう てん しりつがっこう ようちえん れんけい かだい てん
理解を各部署で深めることは必要だという点と、また、私立学校や幼稚園との連携が課題だという点が

えーひょうか じぎょう じゅうじつ
ございますので、A評価、より事業を充実させるということにさせていただきます。

つづ ふくし だいさんしゃひょうかせいど ぶきゅう てん
続きまして、5ページになります。福祉サービス第三者評価制度の普及といった点になります。こ

ふくしそむか ふくし だいさんしゃひょうかせいど ぶきゅう てん きさい
ちらは福祉総務課になります。福祉サービス第三者評価受審費補助事業ということで記載させていた

だいております。第三者評価につきまして、そちらを実施した事業所に補助金を支給するといった業務
になっております。こちらの課題といたしましては、市民に周知するチラシ類は現在庁内でのみ配布
しているため、公民館、図書館など公共機関においても広く周知できるようにしていくということに
させていただいております。B評価となっております。

続きまして、市民から気持ちよく相談できる職員のための面接・接遇研修の充実ということにな
っております。職員課で職員研修を行っています。内容としましては、接遇向上研修となってお
ります。こちらは、引き続き研修の充実を図るということで、A評価となっております。

また、職員の相談窓口等の現場実習につきましては、同じく職員課になります。多摩信用金庫で
の接遇研修などの職員研修を行っているといった部分につきまして、同じく引き続き研修の
充実を図るといったことで、A評価となっております。

次に、福祉サービスの専門職員研修の充実、こちらは同じく職員課の職員研修となっております
す。内容としましては、認知症サポーター養成講座、ゲートキーパー養成研修、保育園研修など、そ
ういった研修を行っています。引き続きその研修内容を充実させ、専門職員や一般職員の資質の
向上を図るといったことで、A評価となっております。

1枚おめくりいただきまして、6ページになります。「ソーシャルインクルージョンに基づく地域づ
くり」を実現するための職員研修の実施ということになっております。職員課の職員研修は、「私
の人権行政論ーソーシャルインクルージョンの実現に向けてー」という形で研修を行ったという
ことで、A評価となっております。

ふくしそむか
福祉総務課につきましては、「ソーシャルインクルージョンに基づく地域づくり」の講演会の開催を

おこな
行っております。ソーシャルインクルージョンは地域を支える上で非常に重要な考え方であり、

こんご すいしん
今後も推進していきたい。しかしながら、市民に十分に浸透したとはまだ言えないといった点につき

こうえんかいがい だまゑこうざ せっきよくてき すいしん えーひょうか
まして、講演会以外でも、出前講座などで積極的に推進していきたいということで、A評価とさせて

いただいております。

まい
1枚おめくりいただきまして、7ページになります。成年後見制度利用に関する市長申し立て検討

かいぎ かいさい
会議の開催になります。こちらは福祉総務課で、成年後見制度市長審判請求関係者連絡会議を行っ

こんご どうよう ないよう けいぞく びーひょうか
ております。こちらにつきましては、今後も同様の内容で継続していくということで、B評価とさせ

ていただいております。

かだん せいねんこうけん かん こうえんかい じっし おな ふくしそむか せいねん
また、下段の成年後見に関する講演会の実施につきましては、同じく福祉総務課になります。成年

こうけんせいどころえんかい おこな
後見制度講演会といったものを行っております。こちらにつきましては、今後も同様の内容で継続し

びーひょうか
ていくということで、B評価とさせていただきます。

かだん うつ ちいきほうかつしえん きょうか てん こうれいしゃしえんか
下段に移りまして、地域包括支援センターの強化といった点になります。こちらは高齢者支援課に

ちいきほうかつしえん きのうきょうか くにたちし ちやくえい ちいきほうかつしえん
なります。地域包括支援センターの機能強化。国立市におきましては直営で地域包括支援センターを

うんえい じんいん そういん そうだんきのう きょうか てん ねんど
運営しておりますが、そちらの人員を増員し、相談機能を強化するといった点と、25年度からは

じかんがい やかんきゅうじつたいおう そうだんまどぐち せっち ねんど ざいたくりょう かいご かん
時間外・夜間休日対応の相談窓口を設置しています。そして、23年度からは、在宅医療や介護に関す

くにたちしいりょうそうだんまどぐち せっち ねんど ざいたくりょうようすいしんだんとう しょくいん
る「国立市医療相談窓口」を設置しています。さらに、25年度からは、在宅療養推進担当の職員を

はいち じぎょうじっせき かだい ほうしん ちゅうじゅうど
配置しているといった事業実績になっております。こちらの課題・方針といたしましては、中重度の

ようかいごにんていしゃ ちいき にんちしょう かた ちいき せいかつ しえんだいせい さいひょうか じっし
要介護認定者の地域ケアや認知症の方が地域で生活できる支援体制の再評価を実施するというこ

え-ひょうか
で、A評価とさせていただきます。

だい せつさいご そうだん ふくしそごうそうだんまどぐち じゅうじつ ふくし
第1節最後、8ページになります。相談しやすい福祉総合相談窓口の充実ということで、福祉

そうむか ふくしそごうそうだんまどぐち さき すこ はな へいせい ねんど
総務課、福祉総合相談窓口になります。先ほども少しお話しさせていただきましたが、平成26年度か

ふくしそごうそうだんがかり まどぐち しんせつ ないよう しゅそ ふめいかく そうだん
ら福祉総合相談係（ふくふく窓口）を新設しております。内容につきましては、主訴が不明確な相談、

ふくすう かだい から あ そうだん しやくしょ ふしよ そうだん そうだん う
複数の課題が絡み合った相談、市役所などの部署に相談したらよいかわからない相談などについて受

まどぐち まどぐち めいかく たふしよ さい しみん ふたんけいげん
ける窓口がこのふくふく窓口によって明確になった。また、他部署へつなく際も、市民の負担軽減の

しょうくいん じぜん じょうほうていきょう はいりょ おこな ふくしそごうそうだん
ため、職員が事前に情報提供するなどの配慮を行っているといったものになります。福祉総合相談

まどぐち しみんおよ ちょうないがいかんけいきかん しゅうち おこな え-ひょうか
窓口について市民及び庁内外関係機関へのさらなる周知を行うといったことで、A評価とさせてい

ただいております。

つつ しえんか こうれいしゃしえんか じどうせいしょうねんか こそだ しえんか ふくすう か きさい
続きまして、しょうがいしゃ支援課、高齢者支援課、児童青少年課、子育て支援課と複数の課が記載

しんこうかんりかいぎ しえんちょうせいかいぎ さき
されておりますが、進行管理会議、支援調整会議となります。こちらにつきましては、先ほどのふく

まどぐち しゅさい かいぎ たもんだいかぞく ほけんふくし どう しんこうじょうきょう
ふく窓口で主催しております会議になりまして、多問題家族など保健福祉サービス等の進行状況、

せいかつこんきゅうしゃ しえんちょうせい かいぎ ひ ふくしそごうそうだん
また、生活困窮者の支援調整などにかかわっている会議になっております。日ごろから福祉総合相談

まどぐち まどぐち じく かくか れんけいきょうか はか ないよう てん
窓口、ふくふく窓口を軸として各課の連携強化を図っているといった内容になります。この点につき

こんご かくかれんけい うえ そうだんしえん と く ひ-ひょうか
ましては、今後も各課連携の上で相談支援に取り組んでいくということで、B評価とさせていただきます

ております。

いじょう すこ か あし ぜんぶ だい せつ だい せつ しりょう ごせつめい
以上、少し駆け足でございましたが、全部で第3節までございますが、まず第1節の資料の御説明を

させていただきました。

いじょう
以上になります。

うまついいんちよう いま じむきょく せつめい かん ごしつもんとう
【上松委員長】 それでは、今の事務局からの説明に関して御質問等ございますでしょうか。

やまぐちいいん やまぐち ねが
【山口委員】 山口です。よろしくお願いいたします。

いま ないよう いま せつめい なか へいせい ねん がつ か とうしん
今の内容ということではないんですが、今、説明いただいた中で、平成29年12月14日に答申と
して市長に提出されたというお話がありましたけれども、29年はまだ来ていないので、ちょっと…

…。

じむきょく たいへんしつれい ねん がつ か
【事務局】 大変失礼いたしました。28年12月14日でございます。

たむらいいいん たむら わたし ちいきふくし かん こんかいはじ ば だ
【田村委員】 田村です。私は、地域福祉に関しては今回初めてこの場に出させてもらっているんで
すけれども、高齢者のほうは、ある程度今、自分も高齢なので理解できるところもありますけれども、
この調査票というか、今説明していただいた資料は、とりあえず23年度から26年度までの事業に関
して実績をどう評価したかということですね。

じむきょく
【事務局】 そうです。

たむらいいいん ひょうか もと ふくしけいかく けんとう
【田村委員】 そうすると、この評価に基づいてこれからの福祉計画を検討してくださいということ
ですか。

じむきょく
【事務局】 おっしゃるとおりです。

たむらいいいん なに しつもん すで しー びー
【田村委員】 何をどう質問していいかわからないんですけども、もう既に、こういうCとかB
とかAという形で評価されている、その評価されている根拠がちょっと知りたいと思うのと、その

課題・方針の中で、課題という言葉だけは出てくるんですけども、じゃ、課題は一体何なのかというのがまだこの中では見えにくいのかなと思っています。

【事務局】 こちらの推進協議会は、今回皆様に参加していただいている地域福祉計画策定委員会とはまた別の組織で、地域福祉計画、しょうがいしゃ計画も高齢者計画もそうなんですけれども、そちらの評価をする機関というのが別にございます。そちらで皆様に御議論をいただいて出していただいた評価ということになっているんですが、まずそのたたき台といたしまして、各事業を行っている主管課で事業の進捗状況、また、その事業の実績などを出していただく。そして、その主管課の評価を1回出してもらった上で、さらに課題・方針などを出してもらった上で、その推進協議会の中で御議論をいただく。それから今回の答申の中身となっております。なので、御説明をさせていただいているんですけども、もし内容の中で御不明な点などがあれば、事務局で回答させていただければと思っております。

【井上委員】 進め方自体とかやり方を今この場で話してもいいものなんですか。どういうことかという、井上さんは推進協議会にも参加されていて、何人かの方と一緒に評価をされてきているんですけども、先ほど事務局でも言っていたように、これをもとに評価というか、これから計画をつくっていくということではあるんですが、ここ以外に新たな計画とかも立てていける会だと思っんです。そういう部分でいくと、前回は、あるものを評価するということで評価しやすかったんですけども、これからはいろんなことがふえていくという部分では、進め方を決めていただけると井上さんもすごく参加がしやすいと思っっていて、その進め方みたいなものも皆さんと話し合っ決めていけるのであ

れば、そうしてもらえると、少ない会議の中で井上さんも参加しやすいと思います。

なので、どういう形になるのかというのが、もし事務局のほうであるならそうだし、大体、いただいている地域福祉の冊子なんかを見ていても、多分、ある程度事業名があって、こういう計画をどこどこがやっていて、今までこんな感じでやってきたという経過と、これからこういうふうにしていきますということが書かれているので、その部分1つ1つを考えるとということであると考えやすいと

思うんですが、どういう形になるのかが今全く見えない中で進んでいくので、それをまず知れたら

計画が立てやすいのではないかと思います。なので、これはどこでどうしたらいいですか。

【事務局】 そうしましたら、事務局でお答えさせていただければと思います。

今後、計画の策定の手法につきましては、また皆様と一緒に協議をさせていただければと思っています。

1点、前回の第1回の資料でお配りさせていただいておりますスケジュール案がございますが、こちらに事務局としての今後の計画の策定のあり方のようなものを提示させていただいています。今回は29年3月の第2回の委員会です。推進協議会の答申、また現状分析と課題の整理といったところで、本日、皆様に地域福祉の現状といったことで資料を提示させていただいています。

事務局といたしましては、この第2回まで、皆様に前回の計画の評価を踏まえていただくのと、あと、地域福祉を取り巻く現状を踏まえたいと考えております。次の5月の第3回から実際の計画の策定に入っていくといったことで今、事務局としては考えているところでございます。

その計画の策定の手法になりますが、後ほどまた御提案させていただければと思っております。

れども、まず、事務局として計画のたたき台をつくらせていただければと思っております。内容とし

ましては、スケジュール案にございますけれども、計画の基本理念案、構成案、施策目標案、そ

ういっただものをまずは事務局として一度つくらせていただければ。そして、それについて皆様に御議論

いただいて、決めていければと思っております。そして、その後、施策目標ごとの取り組み事項、今回

御説明しております推進協議会の答申いただきました内容、計画の中の実際の事業の中身を、どう

いったものを組み込んでいくのかについて、また皆様と一緒に御議論させていただければと思

ます。

ただ、これはあくまで事務局の案で、決めたものではございませんので、また皆様から御意見など

をいただいて、第3回目以降の委員会のあり方をまた決めていければと思っております。

以上になります。

【田村委員】 この中の1ページ、施策の方向の中で、福祉サービス等の内容の見直しと民間事業者

への委託とか、NPO等の団体等への福祉サービス事業の委託という項目がありますけれども、福祉サ

ービス事業の見直し、NPO等の団体に対して積極的に事業を委託する、その事業を委託することの

メリットとデメリット。それから、しょうがいしゃ就労支援事業については委託で実施していたが、

費用対効果等を考え、平成23年度より専任の嘱託職員3名を配置し、直営で事業を実施している

ということなんですけれども、費用対効果と書いてあるんですけれども、これは、委託した結果、余

りいい結果が出なかったというふうに理解してもいいんですか。そうすると、委託することの基準みた

いなものを教えていただけませんか。高齢者支援課はNPO法人は、該当なしと書いてあり

ますので、これはしょうがいしゃ福祉事業の特徴でもあるのかと思っただけですけれども。

【事務局】 NPO等の団体等への福祉サービス事業の委託といった事業が前回の地域福祉計画で規定されていた点について、皆様にもお話しさせていただいておりますけれども、そういった事業に取り組むということが、担当課が記載されているのが前回の計画といったところに対して、各主管課でどういうふうに取り組んだかを出していただいて評価したのが今回の答申になります。しょうがいしゃ支援課としましては、福祉サービス事業の委託となっているんですけれども、逆に直営に切りかえたといった中身があったという内容なんです。委員おっしゃるとおり、委託の部分でなかなか効果が上がってこなかったの、費用対効果を踏まえて、平成23年度から直営に逆に切りかえたといった内容になっております。なので、その点について、今後も直営の方針ではあるだけけれども、委託事業で実施できるものについては委託を進めていくといったことのB評価になっています。

委員おっしゃるように、委託に関する基準は、特に市としては持ち合わせているものではなくて、各主管課で事業者の方などと相談しながら判断を行っていくんですけれども、当然その中で費用対効果を見ながら委託の検討をしていっているというのが現状でございます。

【田村委員】 その費用対効果というのは、実績が上がらないということで……。

【事務局】 正直そうです。なかなか実績が上がってこなかったの、市の直営で行ってきたところです。

【田村委員】 直営で事業をやったら実績が上がったんですか。

【事務局】 そうですね。上がってきた部分がございます。なので、事業によってそういったところ

を見ながら、委託できるものはしていきますし、直営のものは直営でといったところでの精査が必要かとおもっております。

【田村委員】 ありがとうございます。

【上松委員長】 井上委員から質問があったことに関して、事務局からお答え、基本的な方針の提案がありましたけれども、皆さんも含めて、今の進め方でよろしいですか。今回、質疑応答して、それに基づいてたたき台を出してもらって、それで話し合っていくという提案がありましたけれども。

【松浦委員】 松浦と申します。よろしく申し上げます。

先ほど課長さんから御説明のあったことは、私は前回、答申の案に加わっていましたので、これはこれとして、第三者評価を受けて、充実させるとか、あるいは継続させるとか見直しするとかということが判断されたんだろうと思います。したがって、これから、先ほどお話しにありましたように、5月を過ぎた以降のこの課題は、我々がまた新たに決めていけばいいんだろうと私も解釈しているんですが、それでよろしいんでしょうか。

ですから、その中には、ここに答申、最終評価されたABCランクのものが出てくるものもあれば、出てこないものもあるのかもしれませんが、その因果関係をやっぱりはっきりとしていかなければいけない。井上さんが言われたように、何か新たな課題があるんだったら、それはそのところでまた答申案として皆さんで議論して出していけばいいんじゃないかと考えているんですが、それでよろしいんでしょうか。

【事務局】 おっしゃるとおり、推進協議会で今回答申を受けたものを、こちらについて次期の第2

次計画にどういった形で規定していくのかをまず御議論いただきたいところではありますが、当然そ

れ以外にも新たな福祉的な課題がございます。後ほど、資料の2つ目で御説明させていただきたいと思

っておりますが、例えばひきこもりの問題ですとか、あとは生活困窮者自立支援法が平成27年度か

ら施行されておりますが、生活困窮者に対する施策に関しても、第1回で御説明させていただきまし

たけれども、地域福祉計画に新たに規定する必要があるということになっております。そういったも

のについて、事務局で現状などを踏まえた上で、まずは整理をさせていただければと思っております。

さらに、委員の皆様からも、こういった点について地域福祉計画で規定していく必要があるのではな

いかといったものを今後の審議の中で挙げていただきまして、その点についても当然、計画に盛り込ん

でいきたいと考えております。

以上になります。

【松浦委員】 目についたのであれなんですけれども、2ページの左下の事業内容のところ、これ

は誤字だと思うんですが、「NPO頭」の「頭」、それからその下の「国や戸」の「戸」も違うんじゃ

ないかと思えます。済みません、余計なことです。

【事務局】 失礼いたしました。修正させていただきます。

【井上委員】 先ほど委員長さんが言われていた部分で、内容を考えるのはもう皆さんと同じでして、

どういう形のものができていくのかというのは先に下さると言っていたんですけれども、それも先に

見せていただけると、今やりやすいかとかかわかるし、5月の段階で井上さんに合うものの新たに提案

をその場でしても構わなければ——形だけですよ。中身はもちろん皆さんと同じようにいろんなこ

いとうえいいん さつき井上委員からも、だいじ してき おも 大事な指摘だと思っただんですけれども、これからがついこう む 5月以降に向けて、ただ
だいいがい たと き台以外に、例えばそれぞれの委員が感じているくにたちし ちいきふくしけいかく 国立市の地域福祉計画にこんなことを入れたらどう
だろうというのをみんなが出して、だ じっさい い 実際に入れられるのか、ほかのぶんや けいかく 分野ごとの計画なのか、どうい
ふうに入れるのかというのをまた、ただき台とみんなが出したものをがつ はな 5月から話していく。場合によ
っては、かく こうれい 各、高齢とかしょうがいにも かえ けんとう 持ち帰って検討するという形で、かたち こんかい わたし す 今回、私もしゃべって済みま
せん、ぶん 2分しゃべってしまったんですけれども、すこ はな もう少しポイントを話して、それぞれの委員から感想
がき 聞ければそれでいいかと思いました。

じむきょく じむきょく ふてぎわ もう
【事務局】 事務局の不手際で申しわけございません。ありがとうございます。

まるやませんせい まるや山先生がおっしゃるとおりで、しりょう だい せつ のこ だい せつ だい せつ 資料はまだ第1節で、残り第2節、第3節とございます。推進協
ぎかい さんかく 議会議に参画いただいた委員がぶんすう 複数いらっしゃると思いますので、もしよろしければ わたくし だい せつ だい せつ 私で第2節、第3節を
ポイントでごせつめい 御説明させていただいて、あらた ごいけん 改めて御意見をいただければと思います。よろしくお願いいた
します。

はやしひろきいいん すす かた 進め方についてもう一、いち にてんかくにん 二点確認したいことがありまして、スケジュール案を拝見し
ていますが、つぎ がつ おこな だい かい 次回5月に行われる第3回委員会から3回にわたって しきく もくひょう と く じこう 施策、目標ごとの取り組み事項の
けんとう 検討というのが、だい かい 第3回では①、だい かい 第4回では②、だい かい 第5回では③とあるわけですが、これはだい せつ だい 第2
せつ だい せつ たいおう 節、第3節と対応しているということではよろしいですか。

じむきょく じ き けいかく せつ た とく き とく だい せつ
【事務局】 次期の計画で3節立てにするとかということは特に決まっていますので、特に第1節、
だい せつ だい せつ たいおう 第2節、第3節に対応しているということではなくて、きょうぎ なか かいいてど こぎろん 協議の中で3回程度は御議論いただくのがよ

いのかなといった中での記載になります。

【林大樹委員】 わかりました。

それともう一つ、こちらの策定委員会の前に介護保険運営協議会が必ず開かれるんですが、事務局でたたき台をつくっていただくということは必要ですし、ぜひそうしていただきたいと思いますが、それに対して私たちが追加してほしいとかというものに関して、こちらの委員会で事前には出されるにしても、こちらの委員会で議論するだけでは、ここに出ている兼任委員だけの中での議論にとどまってしまうんですが、私は介護保険運営協議会のメンバーなのでそちらの話だけしておりますが、次の第3回の前に介護保険運営協議会が2回行われる予定になっているので、そこでたたき台は出していただけるのでしょうか。

【事務局】 介護保険運営協議会としようがいしゃ計画策定委員会から兼任委員の皆様に出ている形になるんですけれども、両会議とも、私が事務局として一応参画をさせていただいております。必ず事前に、そちらの会議の内容を踏まえたたたき台をこちらで提示できると。タイミングもありますので、うまくできるかは微妙なところではあるんですけれども、必ずしようがいしゃ計画策定委員会、介護保険運営協議会の内容を踏まえた形で事務局としてたたき台をつくらせていただいて、提示させていただければと思っておりますので、そういった整理をお願いさせていただければと思っております。

【林大樹委員】 わかりました。ありがとうございました。

【上松委員長】 それでは、第1節に関する質問はよろしいですか。

では続きまして、第2節の説明お願いいたします。

【事務局】 そうしましたら、第2節、第3節と続きましてポイントに絞って御説明させていただければと思います。

まず、第2節、1ページ目になります。上から2つ目、J R 南武線谷保駅バリアフリー化の推進、こちらは福祉総務課になります。谷保駅のバリアフリー化、エレベーター設置の事業になります。平成28年10月に改札外のエレベーターが設置されまして、既に改札内のほうは平成26年度にできていたんですけども、工事がここでちょうど完了した形になっております。こちらにつきましてはA評価、充実させるということになっております。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、2ページになります。こころのバリアフリー化の推進といった事業になります。こちらにつきましては、しょうがいしゃ支援課が、しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言の条例化といったものがございまして、国立市では、しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言といたものを出しておりましたが、障害者差別解消法を踏まえましてそちらの条例化を行ったといった事業になっております。こちらにつきましてはA評価となっております。

また、下の高齢者支援課につきましては、国立市認知症の日を市独自で制定させていただいております。こちらにつきましてもA評価とさせていただきます。

1枚おめくりいただきまして、情報のバリアフリー化の推進になります。先ほども何点かございましたが、市報ですとか議会報、また、避難所運営マニュアルなどの作成で、アクセシビリティの向上を各課で取り組んでいるといった内容になっておりまして、各課で取り組んでいる内容を全てA評価、

じゅうじつ
充実させるということにさせていただいております。

1 ページおめくりいただきまして、4 ページになります。さいがい かんけい じぎょう きさい
災害に関する事業がこちらに記載され
ています。さいがいじょうはいりよしゃひなんしえんじぎょう さいがいじ ひなん しえん ひつよう かた こうれいしゃ
災害時要配慮者避難支援事業、災害時に避難するのに支援が必要な方、高齢者、しょうが
いしゃ、そういつた方に関して支援を行う事業を福祉総務課、ぼうさいあんぜんか おこな
防災安全課で行っているものになり
まして、えーひょうか ふくしひなんじょ かくほ さいがいじ いやくひんどう ちょうたつほうほう
いずれもA評価となっております。また、福祉避難所の確保、災害時の医薬品等の調達方法
といたし事業名につきましても、ぼうさいあんぜんか ちゅうしん じぎょう おこな ふくしひなんじょ
防災安全課を中心に事業を行っております、まず、福祉避難所の
かくほ じゅうじつ えーひょうか ぼうさいあんぜんか おこな いやくひんどう ちょうたつほうほう
確保につきましては、より充実させるA評価、防災安全課が行っております医薬品等の調達方法に
つきましては、かだい けいぞく びーひょうか
課題がまだあるところにつきまして、継続させるB評価となっております。

まい じ こ ほうし ほうはんかつどうどう こうほう
1 枚おめくりいただきまして、5 ページになります。事故防止、防犯活動等の広報といったところ
で、ぼうさいあんぜんか こうつうか とく ぜんこくこうつうあんぜんうんどう じっし とお あんぜん かん かつどう
防災安全課と交通課で、これまでも特に全国交通安全運動の実施などを通して、安全に関する活動
をおこな じぎょう けいぞく びーひょうか
を行っているということで、こちらはいずれも事業の継続ということでB評価とさせていただきますお
ります。

つつ はいしん ふきゅう し おこな
続きまして、6 ページになります。くにたちメール配信サービスの普及ということで、市が行って
いるごみだしですとか、だ しゅうのう ぜいきん のうき し ぼうさい はいしん
収納、税金などの納期のお知らせ、また、防災メールなどのメール配信サー
ビスをおこな えーひょうか なか しゅうのうか のうき
を行っているものになります。こちらにつきましては、ほぼA評価といった中で、収納課の納期
のし けいぞく びーひょうか
お知らせメールにつきましては、継続でのB評価となっております。

つつ さき すこ ごせつめい ふくしろうこうぞうだんまどくち
続きまして、7 ページになります。先ほど少し御説明させていただきました福祉総合相談窓口、ふ
くふくまどくち ないよう きさい かんが
くふく窓口の内容について記載させていただいております。また、ソーシャルインクルージョンの考

かた え方についても、さき 先ほどごせつめい 御説明させていただいた内容と同じような内容となっております。

まい 1枚おめくりいただきまして、8ページになります。じどうおよ 児童及びこうれいしゃ 高齢者のぎやくたい 虐待、D V、ひきこもり、

ことくし 孤独死、じさつとう 自殺等のぼうし 防止につきまして、ふくしそむか 福祉総務課でこりつかぼうしえきとう 孤立化防止駅頭キャンペーンなどを行ってきたと

ないよう いった内容で、えーひょうか A評価となっております。

また、さき 先ほども少しごせつめい 御説明させていただきましたけれども、こうれいか 高齢化に伴ういどうこんなんしゃ 移動困難者のためのしえん 支援

で、ふくしゆうしょうんそうじぎょう 福祉有償運送事業に対してのほじょ 補助を行っているということで、えーひょうか A評価となっております。

また、じかん 24時間、あんしん 安心してちいき 地域で暮らしをきるためのきんきゆうはけんじぎょう 緊急派遣事業のけんとう 検討・じっし 実施について、こうれいしゃしえんか 高齢者支援課、

しょうがいしゃ しょうがいしゃしえんか 支援課でそれぞれとく 取り組んでいる内容をきさい 記載させていただいておりまして、じゅうじつ 充実させ

るのえー Aとさせていただきます。

つづ 続きまして、9ページになります。ちいきほうかつしえん 地域包括支援センターのきょうか 強化につきましては、さき 先ほどごせつめい 御説明さ

せていただいたとおりとなります。りしょくしゃ 離職者のためのしゅうろうかんきょう 就労環境のせいび 整備につきましては、ふくしそむか 福祉総務課で、

とく 特にふくふく窓口でしゅうろうしえん 就労支援という中で、なか レンタルスーツ事業ですとか、じぎょう 職員によるめんせつ 面接のもぎ 模擬ト

レーニング、しゅうろうじゅんびしえんじぎょう 就労準備支援事業などを行わせていただきまして、じゅうじつ いずれもえーひょうか A評価

とさせていただきます。

つづ 続きまして、10ページになります。だい 第2節のさいご 最後になりますけれども、けんこう こちらは健康づくりに関す

るぶぶん 部分になります。なので、とく 特にほけん 保健センターでとく 取り組んでいる内容になります。しょくじ 食事バランスガイ

ドのしゅうち 周知・かつよう 活用ですとか、げんき 元気がなくにたちけんこう 健康づくり計画のけいかく 推進といいた内容になっておりまして、

じょうぶ 上部がB評価、びーひょうか 下部がえーひょうか A評価といった内容となっております。

そうしましたら、次、第3節、第9、社会参加の推進になります。

1ページ目になります。市内のサークルや団体のための活動の場の確保といったことで、生涯

学習課、公民館、生活コミュニティ課、福祉総務課で取り組んだ内容を記載させていただいております。

す。いずれも事業の充実ということでA評価とさせていただきます。

1枚おめくりいただきまして、新たな活動の担い手の発掘・支援につきまして、福祉総務課では該当

なしとはなっていますが、ボランティアセンターが福社会館、社会福祉協議会にございまして、そう

いったところに対する補助なども行っています。これにつきましては、市で直接行っているところ

がなかなかないので、該当なしのCとさせていただきます。

続きまして、3ページになります。「たまり場運営事業」の見直しですとか、NPO等の団体が実施

するたまり場や居場所づくりへの支援といったことで、福祉総務課、子育て支援課、児童青少年課な

どが行っている事業を記載させていただきます。特に補助金などを支出して、そういった団体

への支援を行っているということで、全てA評価とさせていただきます。

続きまして、4ページになります。社会教育の実施や福祉に関する意識の醸成といったことで、

生涯学習課の「わくわく塾くになち」、公民館の公民館主催事業などについて記載させていただいて

おりまして、充実のA評価となっております。

また、下段、人権教育の充実につきましては、教育指導支援課で行っております事業、総合的な

学習、職場体験学習、復籍交流などについて記載をさせていただきます。A評価とさせて

いただいております。

まい
1枚おめくりいただきまして、5ページになります。ポケット労働法の作成・配布につきましては、

さんぎょうしんこうか おこな
産業振興課で行っているところにつきましの継続のB評価。

いちばんした げんき こうれいしゃ ほうふ ちしき けいけん い はたら ば かくほ ぶんくし
また、一番下、元気な高齢者の豊富な知識や経験を生かした働く場の確保といったところで、福祉

そうむか じんざい たい ほしよきん こうふ おこな ひーひょうか じぎょう けいぞく
総務課でシルバー人材センターに対して補助金の交付を行っているところでのB評価、事業の継続と

ひょうかないよう
いった評価内容となっております。

す か あし だい せつ だい せつ ごせつめい
済みません、駆け足になりましたが、第2節、第3節につきましてポイントの御説明をさせていた

だきました。

うえまついいんちよう すいしんきょうぎかい いいん みなさま ひとこと ねが
【上松委員長】 推進協議会の委員の皆様から一言ずつお願いします。

やまぐちいいん わたし すいしんきょうぎかい ひょうか いま ひょうか ないよう じむきよく
【山口委員】 私も推進協議会で評価をさせていただきました。今、その評価の内容について、事務局

ごせつめい なか し せいさく なん なか も こ
からいろいろ御説明をいただきました。その中で、いろいろ市の政策や何かの中で、これは盛り込ま

ぜんひょうか なか はい おち なか
なければならぬというものがほとんど全評価の中に入っていたと思うんですけども、その中でも

かだい み こんご けいかく さくてい うえ みな
まだ課題とかがかなり見えてきているというところで、今後の計画を策定していく上で皆さんと

ごいっしょ けんどう おち ねが
御一緒に検討していきたいと思っております。よろしくをお願いします。

はやしひろきいいん わたし すいしんきょうぎかい さんか つぎ あたら けいかく
【林大樹委員】 私も推進協議会に参加しております、やはり次に新しい計画をつくるときは、

わたし こうれいしゃぶんくし かいごほけんじぎょう み ほうりつ せいど
どうしても私は高齢者福祉、介護保険事業のほうから見てしまうんですが、そちらの法律とか制度が

か あたら けいかく ちゅうかんひょうか あら ていあん
かなり変わってきていますので、新しい計画というのは、この中間評価だけではなく、新たな提案が

ひつよう かん
必要だと感じております。

じゅうみんしゆたい かいほつ しえん はってん くにたち
そして、住民主体のサービスをどう開発し、それを支援して発展させていくかがこれからの国立の

高齢者福祉において重要だと思われるんですが、それがいろいろなところにはらばら入っているんで

す。例えばということで、第1節の3ページの取組名、ためになる地域マップづくり、これはとても

いい取り組みだったと思うんですが、これも事業実績のところ、地域住民が主体となり高齢者地域

見守り活動の一環としてということで例が挙げられています。これだけでなく、やはりあちこちに

ると思うので、地域住民主体でいろいろとできないかという目で事務局でもたたき台、いろんな新

な取り組みの提案を出していただけたらいいかと思えます。

【松浦委員】 確かに法律が変わったり新しい法律ができていたりしますので、それに応じた形を

とらないといけないと私も考えています。例えば成年後見制度、おととい、さきおとといか、閣議決定

されて、これから成年後見制度は大きく変わってくると思います。そんなところを考慮しながら新

い計画を立てないといけないと私は思っています。

それから、先ほど林大樹先生が言われたように、介護保険の協議会で決めていたことをまたここで

もう1回、議論すると言ったら変ですけども、それを変更した場合とか、変わった場合とか、ある

いは今度、我々が答申した案が評価委員会でまた変更されるようなことになったら、最終的にどうい

うふうになるのかというのは、私も今のところまだ想像がつかないので、あと1カ月、よく考えた

ほうがいいと思っています。よろしくお願ひします。

【井上委員】 推進協議会でオブザーバーをやっていました。いろいろなところに行って、話を聞い

たり見に行ってきました。A、もっと頑張る、B、続ける、C、やめるの評価をしました。もっとも

っと頑張ってほしいことややってほしいことがありました。考える時間が欲しいです。

ありがとうございます。

【上松委員長】 上松です。推進委員会で委員長をしていました。委員長という立場上、皆さんの意見をまとめるというところにちょっと忙しくて、そこから見ると、この答申案は、正しくその場の意見を反映していると思っています。ただ、昔の計画の、それも中間の評定なので、新しいものを入れなければいけないというのは私も思います。特に、林大樹委員が言っていたように、住民主体というか、特に新しい総合事業で、つまり地域づくりだと言われていますけれども、そこがやっぱりポイントになるんじゃないかと私も感じています。

今の推進委員会の委員の話も含めて、皆さん、何か質問等ありますでしょうか。

【木藤委員】 今、言われたように、これからの地域は、やはり住民が主体になってやっていかないと、行政でもやり切れない。特に高齢者の問題なんかですと、高齢者がふえて介護の需要がふえていく中で、当然財源も限られている中で、いわゆる住民がみずから地域で課題を解決していくというふうに今の流れの中ではなっています。そうすると、今、2人の先生方が言われたように、これからこの地域福祉計画の中にも、そういう切り口で、今は行政が、各担当が縦割りで、各課ではこういうことをやっていますよということなんですけれども、そうじゃなくて、主体が地域の住民という形で、そこに地域をどういうふうにつくっていくかというところで、大きな題目が地域づくり、地域をつくっていくという題目の中に各施策がどういうふうにあるか、入っていくかということも今後考えていく必要があるのかと思っています。

私も今、地域福祉活動計画、まさに行政ではなくて地域の方、私たちということで、住民が

しゅたい けいかく なか ちいき
主体となった計画をつくっています。その中には、みずから地域をどういうふうにつくっていくかと

かんてん はい ぎょうせい けいかく き くち はい ひつよう
いう観点が入ってきますので、行政の計画にも、そういう切り口が入ってくるとすることが必要な

へん ちいき おお かだい おも
じゃないか、そこら辺がやはり、これからの地域の1つの大きな課題じゃないかと思っています。

じむきょく いま きどういじん こいけん ちいきふくしかつどうけいかく しゃかいふくしきょうぎかい けいかく
【事務局】 今、木藤委員から御意見いただきました地域福祉活動計画、社会福祉協議会の計画にな

さくていいんかい わたくし さんかく なか いま
りますけれども、そちらの策定委員会にも私 が参画させていただいておりますので、その中で今、

かつどうけいかく しんちよく かたち けいかく ないよう ちいきふくしけいかく だい
活動計画がかなり進捗されている形なので、その計画の内容も、ぜひこの地域福祉計画のたたき台に

も こ おも ねが
盛り込んでいきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

はやしみずちかい いん わたし かいごほけん き はやしみずちか
【林瑞哉委員】 私 も介護保険のほうから来ている林瑞哉です。

こうれい ろうじん つと ひととお いま と く み なか
もともと高齢の老人ホームに勤めていますけれども、一通り今までの取り組みを見ている中で、ち

き しゅうろうしえん こんご よう はたら ひと しえん ひつよう おも
よっと気になったのは、就労支援というところで、今後、要は働きたい人の支援も必要だと思いま

ねんねんこかつ じんざい き とく いま
すけれども、やはり年々枯渇しているのが、人材がないというところがとても気になります。特に今

かいご ほいく いがい ふくし とう
クローズアップされているのは介護、保育、あとはそれ以外の福祉のしょうがい等でも、やはりなか

ひと みほんとう せつじつ もんだい あ ふくし
なか人が見つからないということが、もう本当に切実な問題として上がっている。それぞれ福祉の

じぎょうしゃ ひと ていか なか なん ひと かくほ
事業者については、人がいなければサービスが低下してしまうという中で、何とか人を確保しなけれ

ひっし じょうきょう
ばいけないというようなところで必死になっているという状況があるんですね。

じっさい かね じょうきょう じんざい
それに実際にお金がかかっている状況もあります。というのは、ハローワークとか人材センター

こうてききかん ねが じんざいかくほ
とか、そういった公的機関にお願いをしているだけでは、とてもじゃないけれども人材確保ができな

みんかん じんざい かいしゃ たと いがい
いというところで、民間のそういう人材の会社、例えばチラシとかネットとかそういったところ以外に

も臨時的に派遣、紹介、こういったところからも人を雇わないといけない。せっかく利用者のための

サービスを提供して収入を得たものが、そういう人材確保をするためにちょっと歯がゆいお金を

支出してしまうというのはちょっと違うんじゃないかというところで、結構働く人というのは、地域

住民の方が多いですね。そういう部分では、もう少し行政とのバックアップがありながら、

就労支援とあわせてそれぞれの福祉サービスの事業者の人材が確保できるような仕組みを今後の中で

取り入れていただきたいと思いました。

【松浦委員】 今、林瑞哉さんが言われたように、介護、福祉では人が足りない、就労支援して就労

につなげていく、そっちのほうに人材を移動するというような施策が入っているといいと私も思いま

す。ただ、地域とって、ぼろっとして何のこともよくわからないんじゃないかと思うんですが、

私なんかも、自治会という組織、町内会があるんですが、そこで今、防災の委員をやっているんで

すけれども、これからの社会が、とにかく4割はひとり住まいになってしまうという。そうすると、

お互いにどうやって助け合っていくんだ、支え合っていくんだということが大きなテーマになってく

るんです。介護も必要、保育も必要、もう本当に必要なんです。

私も今、生活支援員というのをやらせていただいているんですが、やはり高齢でひとり住まい、

認知症が始まったか始まらないかという程度の方を、何とかちゃんと能力を持たせて、元気になって

生活してもらおうという形の応援しかできないんですけれども、あるいは、エールネットでしょうが

いしゃのお手伝いをさせていただいているんですが、そういう隣近所の支え合いというのが、戦前の

隣組ではない形の新しい支え合いというのができてこない、防災もやってみて、社会って一体ど

うなってしまうだろうという ^{おどろ}驚きなんかがあります、今、何か ^{いま なに あたら}新しい地域、^{ちいき}住民 ^{じゅうみんどうし}同士の ^{むす}結びつき、^{たす あ}助け合い ^きというのをやってみよう ^きという ^{ろうこつ}気になって、^う老骨に ^うむち打っているんです。

そんな ^{かたち}形で、^{ふくし}いろんな福祉 ^{ふくし}という ^{なん}ような、福祉 ^{なん}って何だ ^{なん}ということになって ^{なん}しまうのかもしれない。

どこまで ^{はんい}範囲 ^{ひろ}を広げるんだ ^{なん}という ^{なん}話 ^{なん}になって ^{なん}しまうの ^{なん}かもしれない ^{なん}けれども、^{みな}それらを ^{みな}皆さんと ^{みな}し ^{みな}ベリング ^{みな}をしながら、^あベクトル ^あを ^あ合わせながら、^{あたら}とにかく ^{あたら}新しい ^{あたら}まちづくり ^{あたら}をして ^{あたら}いきたい ^{あたら}と ^{わたし}私自身 ^{わたし}は ^{わたし}思っていますので、^{わたし}これは ^{わたし}私の ^{わたし}意見 ^{わたし}ですけれども、^{わたし}ひとつ ^{わたし}よろしく ^{わたし}お願い ^{わたし}したい ^{わたし}と思います。

【^{たむらい}田村委員】 ^{いま}今まで ^{みな}皆さんの ^{なん}お話を ^{なん}伺いながら、^{なん}自分の ^{なん}妄想 ^{なん}も含めて ^{なん}ですけれども、^{いま}今 ^{いま}やっている ^{いま}ことを ^{いま}お話し ^{いま}したい ^{いま}と思う ^{いま}んです。 ^{いま}自分が ^{いま}退職 ^{いま}して ^{いま}高齢者 ^{いま}の ^{いま}枠 ^{いま}の中 ^{いま}に入 ^{いま}って、^{いま}これから ^{いま}どんどん ^{いま}高 ^{いま}齢者 ^{いま}が ^{いま}ふえて ^{いま}いく ^{いま}という ^{いま}現状 ^{いま}の中 ^{いま}で、^{いま}自分 ^{いま}たちは ^{いま}やっぱり ^{いま}国立 ^{いま}の中 ^{いま}で、^{いま}自分が ^{いま}孤立 ^{いま}という ^{いま}言い ^{いま}方は ^{いま}おか ^{いま}しい ^{いま}んですけれども、^{いま}ひとり ^{いま}で ^{いま}いる ^{いま}ことが ^{いま}好きな ^{いま}人も ^{いま}いら ^{いま}っしゃ ^{いま}る ^{いま}わけ ^{いま}だし、^{いま}だから ^{いま}余 ^{いま}り ^{いま}孤独 ^{いま}だ ^{いま}とか ^{いま}孤立 ^{いま}だ ^{いま}という ^{いま}言葉 ^{いま}では ^{いま}なくて、^{いま}今 ^{いま}までの ^{いま}経験 ^{いま}、^{いま}特に ^{いま}高齢者 ^{いま}の場合 ^{いま}は ^{いま}そう ^{いま}いった ^{いま}もの ^{いま}を生 ^{いま}かせる ^{いま}よ ^{いま}う ^{いま}な ^{いま}場 ^{いま}を ^{いま}ど ^{いま}ん ^{いま}ど ^{いま}ん ^{いま}い ^{いま}ろ ^{いま}ん ^{いま}な ^{いま}形 ^{いま}で ^{いま}つ ^{いま}く ^{いま}っ ^{いま}て ^{いま}い ^{いま}く ^{いま}という ^{いま}こと ^{いま}も ^{いま}す ^{いま}ご ^{いま}く ^{いま}い ^{いま}い ^{いま}ん ^{いま}じ ^{いま}ゃ ^{いま}な ^{いま}い ^{いま}か ^{いま}と ^{いま}思 ^{いま}っ ^{いま}た ^{いま}り ^{いま}し ^{いま}て ^{いま}い ^{いま}る ^{いま}ん ^{いま}で ^{いま}す。

^{さくねん}昨年 ^{さくねん}から、^{かいご}介護者 ^{かいご}の ^{かいご}家族 ^{かいご}の方 ^{かいご}たち ^{かいご}の ^{かいご}会 ^{かいご}を ^{かいご}や ^{かいご}っ ^{かいご}て ^{かいご}い ^{かいご}る ^{かいご}ん ^{かいご}で ^{かいご}す ^{かいご}け ^{かいご}れ ^{かいご}ど ^{かいご}も、^{かいご}やはり ^{かいご}国立 ^{かいご}の中 ^{かいご}では、^{かいご}いろ ^{かいご}ん ^{かいご}な ^{かいご}と ^{かいご}ころ ^{かいご}を ^{かいご}見 ^{かいご}に ^{かいご}行 ^{かいご}っ ^{かいご}て ^{かいご}も、^{かいご}人 ^{かいご}が ^{かいご}な ^{かいご}か ^{かいご}な ^{かいご}か ^{かいご}集 ^{かいご}ま ^{かいご}ら ^{かいご}な ^{かいご}い ^{かいご}と ^{かいご}い ^{かいご}う ^{かいご}現 ^{かいご}状 ^{かいご}が ^{かいご}あ ^{かいご}る ^{かいご}ん ^{かいご}で ^{かいご}す。 ^{かいご}これ ^{かいご}は ^{かいご}一 ^{かいご}体 ^{かいご}何 ^{かいご}ん ^{かいご}だ ^{かいご}ら ^{かいご}う ^{かいご}と ^{かいご}時 ^{かいご}々 ^{かいご}み ^{かいご}ん ^{かいご}な ^{かいご}で ^{かいご}考 ^{かいご}え ^{かいご}る ^{かいご}ん ^{かいご}で ^{かいご}す ^{かいご}け ^{かいご}れ ^{かいご}ど ^{かいご}も、^{かいご}ど ^{かいご}う ^{かいご}い ^{かいご}う ^{かいご}ふ ^{かいご}う ^{かいご}に ^{かいご}や ^{かいご}っ ^{かいご}て ^{かいご}い ^{かいご}っ ^{かいご}た ^{かいご}ら ^{かいご}い ^{かいご}い ^{かいご}の ^{かいご}か ^{かいご}と ^{かいご}い ^{かいご}う ^{かいご}手 ^{かいご}だ ^{かいご}て ^{かいご}が ^{かいご}な ^{かいご}か ^{かいご}な ^{かいご}か ^{かいご}思 ^{かいご}っ ^{かいご}か ^{かいご}な ^{かいご}い ^{かいご}と ^{かいご}う ^{かいご}と ^{かいご}ころ ^{かいご}が ^{かいご}あ ^{かいご}り ^{かいご}ま ^{かいご}す。 ^{かいご}で ^{かいご}も、^{かいご}それ ^{かいご}は ^{かいご}継 ^{かいご}続 ^{かいご}し ^{かいご}て ^{かいご}や ^{かいご}っ ^{かいご}て ^{かいご}い ^{かいご}く ^{かいご}こ ^{かいご}と ^{かいご}が ^{かいご}大 ^{かいご}事 ^{かいご}な ^{かいご}の ^{かいご}で、^{かいご}や ^{かいご}っ ^{かいご}て ^{かいご}い ^{かいご}く ^{かいご}こ ^{かいご}と ^{かいご}で ^{かいご}自 ^{かいご}分 ^{かいご}た ^{かいご}ち ^{かいご}の ^{かいご}こ ^{かいご}と ^{かいご}を ^{かいご}み ^{かいご}ん ^{かいご}な ^{かいご}に ^{かいご}知 ^{かいご}っ ^{かいご}て ^{かいご}も ^{かいご}ら ^{かいご}う、^{かいご}そ ^{かいご}し ^{かいご}て ^{かいご}それ ^{かいご}を ^{かいご}ま ^{かいご}た ^{かいご}発 ^{かいご}展 ^{かいご}さ ^{かいご}せ ^{かいご}て ^{かいご}い ^{かいご}く ^{かいご}こ ^{かいご}と ^{かいご}が

できるのかなという思いを持ちながら、また新たに、本当に個人のお宅のお部屋をお借りして、今度みんなの部屋というのをつくることにしたんです。それも妄想なんですけれども、本当に健康であって、年齢問わず、世代問わず、それから性別問わず、しょうがいあるなしにかかわらず、何とかみんなが立ち寄ってちょっとお話ししたりできるような交流の場、縁側という名前をつけたんですけれども、今、縁台づくりをしているんです。

そんなふうにして、昔の地域のあり方というのを復活させることは難しい。先ほどおっしゃったように、本当にこれからのどういう自分たちの地域をつくっていくのかということ、身近なところからやっていくしかないのかなと。点がなかなか線になっていかない。その辺はどういうふうに線になれるんだろうかということ、この間、ある町の社会福祉協議会を見学に行きました。そこですごいヒントをもらってきまして、点を線にしていくということは、その市民がやっているものをどちらかが、何らかの形で関心を持って支えて、そういうものを、ネットワークづくりじゃないんだけど、情報交換の場を設定するとか。みんな情報が欲しいわけです。何でうちには来ないんだろう、向こうのところに行ってみても、何で来ないんだろう、じゃあどうしようかというような、そういうお互いの情報交換だとか支援ができるような環境づくりみたいなものを、ある部分、住民と行政が連携と協働をとりながらやっていくということがとても地域をつくっていく。社会基盤がないと、やっぱりいろんなものが拡大、拡充していかないわけですから、そういった意味では、住民同士が何をやっているかということが、どうやったらわかるか。国立は本当にいろんな方がいろんなことをやっているというのは、私は最近よくわかってきたんです。ようやく国立市民になり始めたばかり

なんですけれども、それがなかなか線、面になっていないという部分はすごく残念だなと。

だから、今回、これから新しい福祉計画の中では、そういうところで市民が主体的にいろいろやっているところをどう支えて拡充していくかという視点を持った計画を立てられると本当にありがたいと思います。

【井上委員】 私は、地震が怖いです。第二中学校に避難します。二中で安心して、避難生活をしたいです。

ほそく
補足します。

第2節の4ページに福祉避難所についての事業がありますが、福祉避難所はまだまだ数が全く足りていないということで、これから足りる見込みも見えない中で、実際にしょうがいを持った人は地域の避難所に避難するということがあるんですね。そういう人をどう支えていくのかというのが計画にはまだ書かれていません。井上さんも二中の防災委員をやって、その中でどういうふうに自分がお互いに避難している人と支え合っていくかということを話し合っているんですけども、そういうふうに、その地域だけじゃなくて市全体でも考えていってほしいと思います。

あと、地域の中学校の生徒さんたちにも、そういうときにどう連携していくかというのはまだまだ二中でも話し合っている途中なんですけれども、市でも何か、別に防災計画というものもあるとは思いますが、そういうものとも連携して考えたいと思います。

【上松委員長】 個人的に私もちょっと言いたいと思うんですけども、人材がないというのは本当に切実な問題で、養成校でも入学者が以前の半分とかになっていて、若者自体が介護分野は特に

来ていないというのがありますし、地域づくりという話が出て、高齢者がお互いに助け合う互助という
ことが打ち出されますけれども、すごく大きな落とし穴は、定年退職した後に経済的に自立してい
るという前提だと思っんですけれども、つまりボランティアができるというか。ただ、これからそう
いう時代ではないんじゃないかと思って、私もじきに高齢者になりますけれども、多分働き続けな
ければいけない状況があって、私だけじゃないと思っんです。そうすると、人材育成というか就労
支援のことと、お互いどういう形で助け合うのかということも大きな問題かと思っました。

あと、木藤委員が言っっていた、この計画が縦割りになっているというのは、やっぱり民間人から見る
と非常に違和感があって、違う切り口が入るともっといいんじゃないかとも思っました。

【本多委員】人材については、うちも職場でやっぱりすごく苦勞してしまっ、この4月に復職し
てもらっ予定だっスタッフも、今、産休に入っただんですけれども、結果、保育所に入れなかつ
たので復職がかなわないということがあって、やっぱり子どもの問題もすごく切実だと思っます。

労働人口が減っている中で、そういう人たちにいち早く復職してもらいたいんだけど、子どもの
ほうの課題が解決しないと、働こうに入ってきてくれないということももう1つ問題になっている
のかなと。たまたまうちの職場が20代ぐらいの若い人たちが半数ぐらいいる職場なので、2人目、
3人目のお子さんをつくると、どうしても20代の間は結構長く休むことになってしまうんですが、
昔はそういうときに職員の代替制度というのがあったんですけれども、そういうものも今はもうな
くなっているんで、期間限定で雇おうとすると、非常勤で雇うのがさらに難しくて、常勤の職員で
さえも来ないのに、非常勤ではやっぱり人が来てくれないというのは困ると思っています。

ヘルパーの派遣事業もさせていただいているのですが、ヘルパーになってくれる人も本当にいなくて、特に若い方たちがアルバイトでヘルパーをやってくれとありがたいんですけども、もらうお金の割にはしょうがいしゃの支援がすごく難しかったりすることがあって、高齢者のヘルパーではなく、しょうがいしゃのヘルパーはやっぱりある程度、子どもさんだったり若い元気な人が走っていくのに追いつけるようなヘルパーさんが欲しいと思ったときに、そういう人たちの確保というのが大分深刻になっていると思います。

以前、国立市ではヘルパーの育成に関して補助金を出してくださっていて、ヘルパーさんになりたない人が研修費の一部を補助してもらえることもあったんですけども、そういうことも現在はなくなってしまっているので、働く人をつなぎとめておくこともすごく難しいと思って、制度設計の課題もあるんで、国立市だけで何かできるということでもないのかもしれませんが、そんなふうに思いました。

【田村委員】 人材が足りない、確保がなかなかできない、難しいという話なんですけれども、私もこんなことがあったらいいないつも思っていることが1つありまして、例えばいろんな施設、しょうがいしゃ施設も高齢者施設も同じなんですけれども、意外と施設が地域に開かれていないところが割合に多いんです。地域に開かれていないと、どうしても施設そのものに風が吹かなくて停滞していく部分がある。停滞していると、職員というのは、積極的にあそこで働いてみようかなというふうに思わない部分もあるんじゃないかという気がするんです。

私は前から、施設というのは地域に開いていったほうがいいと。オープンにしていくことによって、

しみん かた はい
市民の方たちがどんどん入ってくる。それによって市民と一般の方たちと施設の交流、それから、し
ようがいしゃとしょうがいを持っていない方たちが交流することによって、しょうがいに対する知識
とか、何だ、しょうがいを持っていて普通の人と同じだというような、偏見を打破するような、是正
していくような効果はすごくあると思うんです。

わたし こうれいしゃ しせつ み おも
私は、高齢者の施設を見ていて思うんですけれども、もっと一般人に施設の中にどんどん入って
もらったほうが逆にいいんじゃないかと思っています。いろんなところで友達がよくやっているのは、
喫茶店を中につくっちゃうんです。喫茶店とか食堂みたいなもの、レストランをつくっちゃって、そ
こに市民が食べに来る。そうすると、高齢者の方たちとお話することでの交流が出てきたり、それ
から、ある施設では、本当に近隣の方たちが施設に入ってきているものですから、お友達だとか家族だ
とかが頻繁に出入りしているんです。そういう形になっていったときに、退職している人、リタイ
アした人たちでまだ元気な人、また、人間も100歳の時代になったものですから、70、80ってまだ
働けるんですね。そういった方たちに、1日二、三時間ぐらいで、それこそ4人そろえば常勤を1人
雇ったような感じになるわけですから、そういう形で、パートタイマーで、特に資格なんかなくても
いいという人材を確保できる制度ができてもいいんじゃないかと。法律にすごく制約されて、こうじ
ゃなければ雇えないというのはかなりありますけれども、私たちは、市と市いろんな施設を運営してい
る人とか、もうちょっと市民と知恵を絞り合いながら、資格がなくてもこういったところで働けると
いうような仕組みづくりを今後やっていってもいいんじゃないかと私はいつも考えているんです。

ボランティアだけじゃなくて、そこに行けば多少なりともお金がもらえれば、年金だけで生活して

いくと、本当に食事するときも1000円以内の食事しかない人たちもいるわけですね。そういう

時代にこれからどんどんなっていくと思うので、もうちょっと施設がいろんなところで開いて、退職

した元気な高齢者が活動できる場をいろんなところで提供できるような仕組みづくりをこれから考

えていきたいと思っています。

【上松委員長】 委員の皆様、質問とか意見は大体よろしいですか。

御意見などないようでしたら、本日、いろんな意見が出てすごくいい会だったんじゃないかと思

ますけれども、これをもとに、先ほど事務局から説明がありました第2次地域福祉計画の基本理念案、

構成案、施策目標案、さらに施策目標ごとの取り組み事項等についてたたき台をつくっていただ

て、次回に提示してもらいたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【上松委員長】 それでは、委員の皆様の御了承がいただけましたので、次回策定委員会に向けて、

事務局の方、作成をよろしくお願いいたします。

続きまして、次第の3、現状分析と課題の整理になります。

事務局から説明をお願いします。

【事務局】 1点、資料②ということで、国立市における地域福祉の現状といったものを本日配付さ

せていただいております。こちらにつきましては、第1次地域福祉計画の第2章に、同じ国立市にお

ける地域福祉の現状といったものがございまして、そちらの内容のデータの更新をさせていただ

ものになります。直近、こちらで入手できる情報まで全て入れていきますので、もしよろしければ、

みなさま はいふ ちいきふくしけいかく ないよう たいひ おも
皆様に配付させていただいております地域福祉計画の内容と対比してまたごらんいただければと思
います。

きさい ないよう し へいせい ねんど
8ページから11ページまで記載しておりますひきこもりの内容につきましては、市で平成27年度
に、若年者を中心とした就労や自立等に関する基礎調査といったものを実施しております、その
ないよう とうきょうとないかくふ ちょうさ ないよう い こ
内容と、また、東京都内閣府の調査の内容も入れ込んでございます。

だい じ こうしん
あとのものにつきましては、第1次のデータを更新したものになっておりますので、またこちら
あわせてごらんいただければと思ます。

しだい た
そうしましたら、次第の4、その他になります。

じかい だい かい さくていいんかい いぜん つた がつ にちげつようび ごご
次回、第3回の策定委員会につきましては、以前お伝えしておりますとおり、5月22日月曜日、午後
じ しやくしょ だい だい かいぎしつ かいさい おも だい かい
7時から、市役所のこちらの第1・第2会議室で開催させていただきたいと思っておりますが、第4回
さくていいんかい にっていちようせい おも
の策定委員会につきましては、ここで日程調整をさせていただければと思ます。

ほんじつ くば じかいいこう ちいきふくしけいかくさくていいんかい にってい
本日お配りさせていただいております、次回以降の地域福祉計画策定委員会の日程についてという
ものをごらんいただければと思ます、日程の候補といたしましては、7月26日水曜日、時間と
おな じ ばしょ おな だい だい かいぎしつ がつ にちきんようび じかん ばしょ おな
しましては同じ7時から、場所も同じく第1・第2会議室。また、7月28日金曜日、時間、場所は同
じになりますが、26日か28日のどちらかで開催させていただきたいと思ます、今の段階で委員

みなさま こつこう わる かた
の皆様で御都合が悪い方はいらっしゃいますでしょうか。

にっていちようせい
(日程調整)

じむきょく にち きんようび かいさい おも
【事務局】 そうしましたら、28日の金曜日開催させていただければと思ますので、よろしく

^{ねが}
お願いいたします。

^{じむきょく} ^{いじょう}
事務局からは以上になります。

^{うえまついいんちよう} 【上松委員長】 それでは、これをもちまして、^{へいせい} ^{ねんどうだい} ^{かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい}
平成28年度第2回国立市地域福祉計画策定委員会を

^{しゅうりょう} ^{おも}
終了したいと思います。ありがとうございました。